

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.146

環境保全課 ☎295100

海洋に溶け込む二酸化炭素

温室効果ガスの一つである二酸化炭素は、地球温暖化を考える上で注意すべき要素です。主に工場など人間の生産活動により、大気中へ二酸化炭素が放出され、その一部は海洋に吸収されます。

気象庁によると、海洋の二酸化炭素吸収率は全体の3割程度ですが、海洋が吸収可能な二酸化炭素の量にも限界があります。海洋による二酸化炭素の吸収量が限界に達すると、大気中の二酸化炭素濃度の上昇は加速し、より温暖化が進んでいきます。

一方、大量の二酸化炭素を取り込んだ海洋は、次第に酸化され、pHが低下し、酸性化した海は多くの海洋生物



に悪影響を与えます。中でも貝類やヤングなどの炭酸カルシウムを殻や骨格の素材として使うものには、大きな影響があります。

海水にはカルシウムイオンと炭酸イオンが豊富に含まれており、これらはわずかな作用で結び付き固体である炭酸カルシウムを生成します。ここに二酸化炭素による酸が加わると、中和されて炭酸イオンが減少します。

炭酸イオンが十分に確保できなければ、貝類やヤングなどは殻や骨格を形成できません。すなわち種の存続の危機に陥ります。生物多様性を維持するためにも、二酸化炭素の排出量の抑制に努めなければなりません。

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎315304
環境事業所 ☎317710
総合支所



「岩国市一般廃棄物処理基本計画」と「岩国地域災害廃棄物処理計画」を策定しました

3月に、市内の一般廃棄物の安定した処理を行うことを目的とした「岩国市一般廃棄物処理基本計画」と、大規模災害により発生する災害廃棄物の迅速かつ適正な処理を図ることを目的とした「岩国地域災害廃棄物処理計画」を策定しました。

どちらも本市の廃棄物処理に関する重要な計画です。市ホームページや情報コーナーに設置してある冊子で内容を確認することができます。

廃棄物の安定処理と循環型社会形成のためには、ごみの分別と減量が重要です。災害廃棄物の処理においても、分別して持ち出したいことが早期の処理につながります。日頃から自治会などで持ち出し場所やルールを決めておくなど、ご協力をお願いします。

おねがい



市の粗大ごみ戸別有料収集の申込方法
各地域の「粗大ごみ 戸別有料収集日」の1週間前までに、電話で申し込んでください
環境事業所、総合支所、支所